

米国ツイン・スターズ・ファンド —予想分配金提示型—

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2013年12月27日から2023年12月1日	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	米国ツイン・スターズ・ファンド—予想分配金提示型— Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)	ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、アライアンス・バーンスタイン S I C A V—セレクト U S エクイティ・ポートフォリオ・クラス S シェアーズおよびアライアンス・バーンスタイン—アメリカン・インカム・ポートフォリオ・クラス S シェアーズを主要投資対象とします。
組入制限	米国ツイン・スターズ・ファンド—予想分配金提示型— Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)	株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年4回(3月、6月、9月、12月の各2日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。 ②収益分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書(全体版)

第36期(決算日 2022年12月2日)

第37期(決算日 2023年3月2日)

受益者のみなさまへ

平素は「米国ツイン・スターズ・ファンド—予想分配金提示型—Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第36期から第37期までの決算を行いましたので、当期間の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

● 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号
ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉

サポートデスク 0120-565787

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

Aコース（為替ヘッジあり）

○最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準 (分配落)	標準価額			投資信託 組入比	純資産 総額
			税分	込配	み金 期騰落		
第15作成期	28期(2020年12月2日)	円 10,548		円 250	% 2.2	% 97.9	百万円 404
	29期(2021年3月2日)	10,745		250	4.2	98.6	337
第16作成期	30期(2021年6月2日)	10,996		300	5.1	97.7	334
	31期(2021年9月2日)	11,116		300	3.8	97.3	346
第17作成期	32期(2021年12月2日)	10,794		300	△0.2	98.4	337
	33期(2022年3月2日)	10,233		250	△2.9	97.7	324
第18作成期	34期(2022年6月2日)	9,653		0	△5.7	98.4	302
	35期(2022年9月2日)	9,247		0	△4.2	100.8	275
第19作成期	36期(2022年12月2日)	9,298		0	0.6	90.9	267
	37期(2023年3月2日)	8,945		0	△3.8	101.7	243

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	標準価額		投資信託 組入比
			騰落	率	
第36期	(期首) 2022年9月2日	円 9,247		% —	% 100.8
	9月末	8,731		△5.6	97.7
	10月末	8,985		△2.8	100.1
	11月末	9,152		△1.0	92.9
	(期末) 2022年12月2日	9,298		0.6	90.9
第37期	(期首) 2022年12月2日	9,298		—	90.9
	12月末	9,040		△2.8	95.4
	2023年1月末	9,211		△0.9	97.8
	2月末	9,004		△3.2	101.8
	(期末) 2023年3月2日	8,945		△3.8	101.7

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

Bコース（為替ヘッジなし）

○最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準 (分配落)	標準 価 額			投資信託 組入比	純 資 産 額
			税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率		
第15作成期	28期(2020年12月2日)	円 10,291		円 200	% 0.7	% 98.3	百万円 2,204
	29期(2021年3月2日)	10,737		250	6.8	98.2	2,160
第16作成期	30期(2021年6月2日)	11,233		350	7.9	98.2	2,203
	31期(2021年9月2日)	11,357		350	4.2	97.8	2,153
第17作成期	32期(2021年12月2日)	11,288		350	2.5	97.9	2,087
	33期(2022年3月2日)	10,860		300	△1.1	98.0	1,974
第18作成期	34期(2022年6月2日)	11,243		350	6.7	98.2	2,088
	35期(2022年9月2日)	11,321		350	3.8	95.1	2,095
第19作成期	36期(2022年12月2日)	10,851		300	△1.5	96.5	2,221
	37期(2023年3月2日)	10,371		250	△2.1	97.0	1,927

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落	率	
第36期	(期 首) 2022年9月2日	円 11,321		% -	% 95.1
	9月末	11,060		△2.3	97.1
	10月末	11,663		3.0	96.6
	11月末	11,213		△1.0	95.4
	(期 末) 2022年12月2日	11,151		△1.5	96.5
第37期	(期 首) 2022年12月2日	10,851		-	96.5
	12月末	10,355		△4.6	98.8
	2023年1月末	10,434		△3.8	99.3
	2月末	10,698		△1.4	95.8
	(期 末) 2023年3月2日	10,621		△2.1	97.0

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

Aコース（為替ヘッジあり）

○投資信託証券の組入比率

作成期	決算期	株式ファンド AB SICAV I Select US CL-S	債券ファンド AB FCP I American Income Portfolio CL-S
第15作成期	28期(2020年12月2日)	49.4	48.5
	29期(2021年3月2日)	55.7	42.9
第16作成期	30期(2021年6月2日)	59.6	38.1
	31期(2021年9月2日)	55.4	41.8
第17作成期	32期(2021年12月2日)	49.0	49.5
	33期(2022年3月2日)	46.4	51.3
第18作成期	34期(2022年6月2日)	42.2	56.2
	35期(2022年9月2日)	40.5	60.3
第19作成期	36期(2022年12月2日)	38.3	52.6
	37期(2023年3月2日)	43.2	58.5

(注) 純資産総額比。

Bコース（為替ヘッジなし）

○投資信託証券の組入比率

作成期	決算期	株式ファンド AB SICAV I Select US CL-S	債券ファンド AB FCP I American Income Portfolio CL-S
第15作成期	28期(2020年12月2日)	49.6	48.7
	29期(2021年3月2日)	55.5	42.8
第16作成期	30期(2021年6月2日)	59.9	38.3
	31期(2021年9月2日)	55.7	42.1
第17作成期	32期(2021年12月2日)	48.7	49.2
	33期(2022年3月2日)	46.5	51.4
第18作成期	34期(2022年6月2日)	42.2	56.1
	35期(2022年9月2日)	38.2	56.9
第19作成期	36期(2022年12月2日)	40.7	55.8
	37期(2023年3月2日)	41.2	55.8

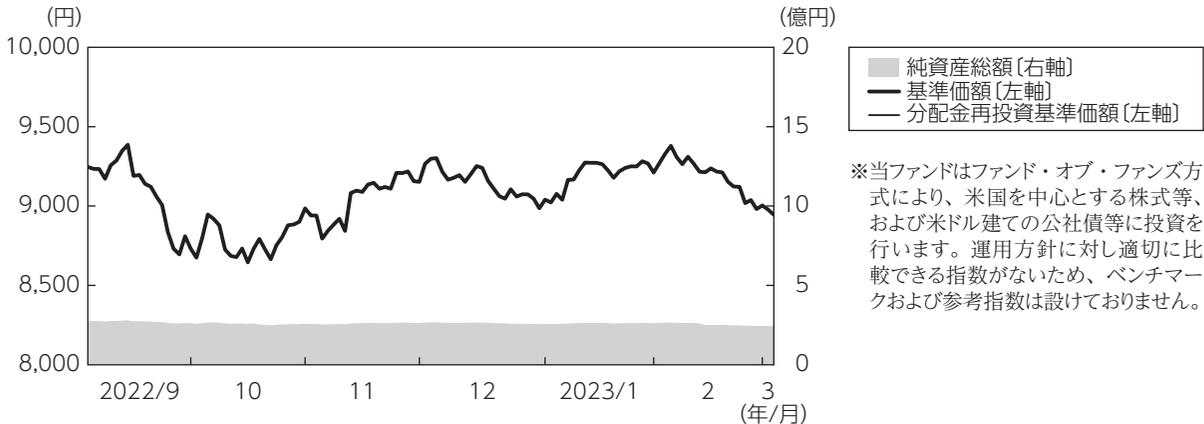
(注) 純資産総額比。

※米国ツイン・スターズ・ファンド 予想分配金提示型は、アライアンス・バーンスタイン SICAV-セレクトUSエクイティ・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ：株式ファンド（以下「米国セレクト」ということがあります。）およびアライアンス・バーンスタイン - アmerican・インカム・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ：債券ファンド（以下「アメリカン・インカム」ということがあります。）に投資しております。

※AB SICAV I Select US CL-Sは米国セレクト、AB FCP I American Income Portfolio CL-Sはアメリカン・インカムです。

運用経過の説明

■ 基準価額等の推移 Aコース (為替ヘッジあり)



第36期首(2022年9月2日):9,247円

第37期末(2023年3月2日):8,945円(既払分配金0円)

騰落率:△3.3%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

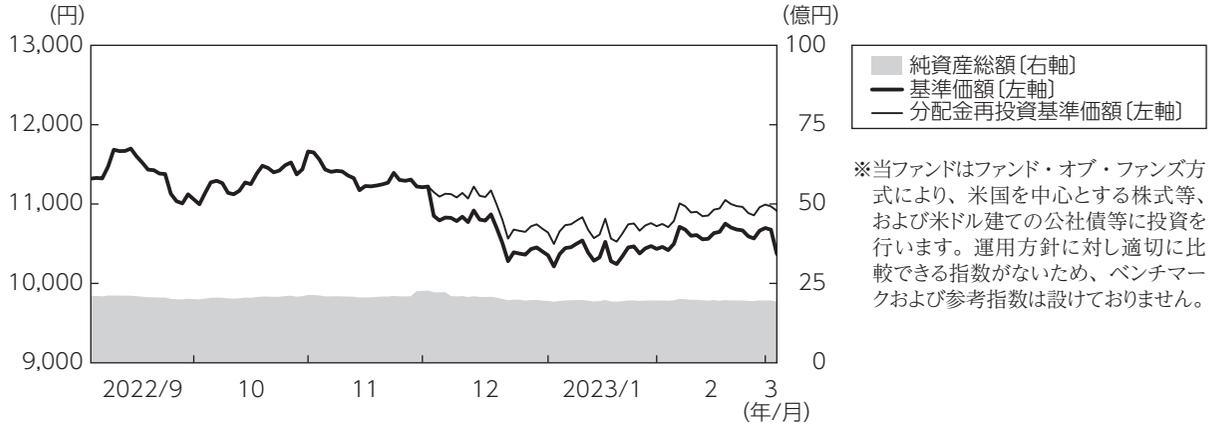
■ 基準価額の主な変動要因 Aコース (為替ヘッジあり)

ファンドの運用方針に従い米国セレクトおよびアメリカン・インカムを通じて、主として米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等へ投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

アメリカン・インカムの基準価額(米ドルベース)が上昇したことはプラスに寄与しましたが、米国セレクトの基準価額(米ドルベース)が下落したことはマイナスに影響し、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

運用経過の説明

■ 基準価額等の推移 Bコース (為替ヘッジなし)



第36期首(2022年9月2日):11,321円

第37期末(2023年3月2日):10,371円(既払分配金550円)

騰落率:△3.6%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因 Bコース (為替ヘッジなし)

ファンドの運用方針に従い米国セレクトおよびアメリカン・インカムを通じて、主として米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等へ投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

アメリカン・インカムの基準価額(米ドルベース)が上昇したことはプラスに寄与しましたが、米国セレクトの基準価額(米ドルベース)が下落したことや、米ドルが円に対して下落したことなどがマイナスに影響し、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

投資環境

外国株式

当作成期の米国株式相場は作成期首比で同程度となりました。作成期首から2022年10月中旬にかけて、景気も堅調であったことから、F R B（米連邦準備制度理事会）による利上げは続くとの見方が広がり、下落しました。しかしその後は、インフレ指標に鈍化の兆しが見え始めたことで今後の利上げ幅、回数ともに減少するとの期待が広がり、反発しました。12月には米国長期金利の上昇を受けて上値は抑えられましたが、年明け後は利上げ幅が縮小されたこともあり底堅く推移しました。

外国債券

当作成期の米国長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。作成期首から2022年10月中旬にかけては、インフレを背景にF R Bが今後も積極的な利上げを続けるとの見方が広がる中、F O M C（米連邦公開市場委員会）で年内の積極的な利上げ見通しが示されたこともあり長期金利は上昇基調となりました。その後は、景気やインフレ指標に鈍化が見られたことから長期金利は低下（債券価格は上昇）に転じました。しかし、12月には日本10年国債利回りが上昇したことが米国市場に波及し、長期金利は年末にかけて上昇しました。年明け後もインフレ、景気、労働需給を巡る観測から、低下、上昇を繰り返す展開となりました。

外国為替

当作成期の米ドルは円に対して下落しました。作成期首から2022年10月にかけては、景気の堅調さ、収束の兆しの見えないインフレ抑制のため、米国では政策金利の引き上げが続くとの観測が広がり、円安米ドル高傾向が続きました。その後はインフレに鈍化傾向が見られ始めたことで、米国長期金利が低下し、円安米ドル高も一服となりました。米ドル安傾向が鮮明となる中、12月に日銀のイールドカーブ・コントロールの運用見直しにより、日本の10年国債利回りの変動幅を拡大するとの発表を受けて同利回りが上昇したことから、2023年1月中旬にかけて円高米ドル安が進行しました。1月下旬以降は、新しい日銀総裁のもと大規模な金融緩和は継続されるとの見通しが強まり、円安米ドル高となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

米国ツイン・スターズ・ファンドー予想分配金提示型ーAコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

作成期首の運用方針に基づき、投資信託証券の組入比率を高位に維持しました。「Aコース（為替ヘッジあり）」は、実質的な組入外貨建資産について、円を対貨とする為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

作成期首より投資対象ファンドであるアメリカン・インカムの組入比率を米国セレクトより高めとしましたが、2022年12月以降、米国セレクトの組入比率を小幅、追加的に引き上げました。

なお、投資対象ファンドの運用および組入比率の助言は、アラリアンス・バーンスタインが行っています。

米国セレクト

作成期首の運用方針に基づき、米国を中心とする金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式（米国預託証券（ADR）を含みます）に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。

当作成期は、作成期首より一貫してインフレ圧力、景気鈍化を意識した運用を行いました。業種選択において、情報技術、一般消費財・サービスの組み入れを抑制しつつ、金融、資本財・サービスの組み入れを高め維持し、且つ過度にディフェンシブにならないように調整しました。銘柄選択では金融政策の転換により市場が好転するまで、優良銘柄の選別に注力しました。

米国セレクトの基準価額は下落しました。

基準価額の変動にプラスに寄与した銘柄、マイナスに影響した銘柄は次の通りです。

（プラスに寄与した銘柄）

ブッキング・ホールディングス、エクソンモービル、バークシャー・ハサウェイ等

（マイナスに影響した銘柄）

アルファベット、アップル、アマゾン・ドット・コム等

【組入上位10銘柄】

(2022年8月末)

銘柄名	業種(GICS分類)	組入比率(%)
アップル	情報技術	6.7
パークシャー・ハサウェイ	金融	5.5
マイクロソフト	情報技術	5.5
アルファベット	コミュニケーションサービス	3.4
レイセオン・テクノロジーズ	資本財・サービス	3.3
PNCファイナンシャル・サービス・グループ	金融	3.3
ペプシコ	生活必需品	3.0
ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	2.9
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	2.9
ハネウェルインターナショナル	資本財・サービス	2.7

※組入比率は組入有価証券に対する比率です。

※作成期首・作成期末の各時点で入手し得る直近のポートフォリオの状況です。

(2023年2月末)

銘柄名	業種(GICS分類)	組入比率(%)
パークシャー・ハサウェイ	金融	6.3
アップル	情報技術	5.8
マイクロソフト	情報技術	5.0
ペプシコ	生活必需品	3.0
ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	3.0
ビザ	情報技術	2.9
エクソンモービル	エネルギー	2.9
ハネウェルインターナショナル	資本財・サービス	2.8
レイセオン・テクノロジーズ	資本財・サービス	2.7
アルファベット	コミュニケーションサービス	2.4

アメリカン・インカム

作成期首の運用方針に基づき、米ドル建ての公社債等に投資し、元本の維持を図りながら、インカム収入の獲得を目指して運用を行いました。

当作成期は、デュレーションは金融引き締めが長期化すると考え戦略として基本は短期化としつつも、状況に応じて調整を行いました。銘柄や種別の選択については国債、投資適格社債、高利回り社債、エマージング債へ分散投資を実施しました。

アメリカン・インカムの基準価額は上昇しました。

【種別別組入比率】

(2022年8月末)

種類	組入比率(%)
米国国債	34.6
高利回り社債	24.7
投資適格社債	14.6
エマージング債	8.2
連邦政府機関債	4.8
商業用不動産担保証券	4.4
モーゲージ担保証券	3.4
優先証券	2.8
その他	2.6

※組入比率は組入有価証券に対する比率です。

※作成期首・作成期末の各時点で入手し得る直近のポートフォリオの状況です。

(2023年2月末)

種類	組入比率(%)
米国国債	31.6
高利回り社債	24.2
投資適格社債	19.8
エマージング債	8.5
連邦政府機関債	4.4
商業用不動産担保証券	3.6
優先証券	2.7
モーゲージ担保証券	2.6
その他	2.6

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

■ 分配金

- ・ 収益分配金については、分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり次表の通り分配を実施しました。
- ・ 収益分配にあらず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

〔Aコース（為替ヘッジあり）〕

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第36期	第37期
	2022年9月3日～ 2022年12月2日	2022年12月3日～ 2023年3月2日
当期分配金	—	—
(対基準価額比率)	—	—
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	686	686

- (注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

〔Bコース（為替ヘッジなし）〕

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第36期	第37期
	2022年9月3日～ 2022年12月2日	2022年12月3日～ 2023年3月2日
当期分配金	300	250
(対基準価額比率)	2,690	2,354
当期の収益	—	—
当期の収益以外	300	250
翌期繰越分配対象額	1,072	822

- (注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

米国ツイン・スターズ・ファンドー予想分配金提示型ーAコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

引き続き、投資信託証券の組入比率を高位に維持します。「Aコース（為替ヘッジあり）」は、実質的な組入外貨建資産について、円を対貨とする為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

米国セレクトとアメリカン・インカムの組入比率については当面、アメリカン・インカムを高めの水準とします。

なお、投資対象ファンドの運用および組入比率の助言は、アライアンス・バーンスタインが行います。

米国セレクト

引き続き、米国を中心とする金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式（米国預託証券（ADR）を含みます）に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

市場環境に応じて銘柄の多様化を図るとともに、成長が見込まれる魅力的な企業を発掘していきます。

アメリカン・インカム

引き続き、米ドル建ての公社債等に投資し、元本の維持を図りながら、インカム収入の獲得を目指して運用を行います。

社債などクレジット市場の債券と米国債との配分に留意します。また、銘柄の多様化、リスク分散を図りつつ、機動的にデュレーション調整を行います。

Aコース（為替ヘッジあり）

○1万口当たりの費用明細

（2022年9月3日～2023年3月2日）

項 目	第36期～第37期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	93	1.036	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(55)	(0.611)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(37)	(0.409)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.009	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	94	1.045	
作成期間の平均基準価額は、9,020円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

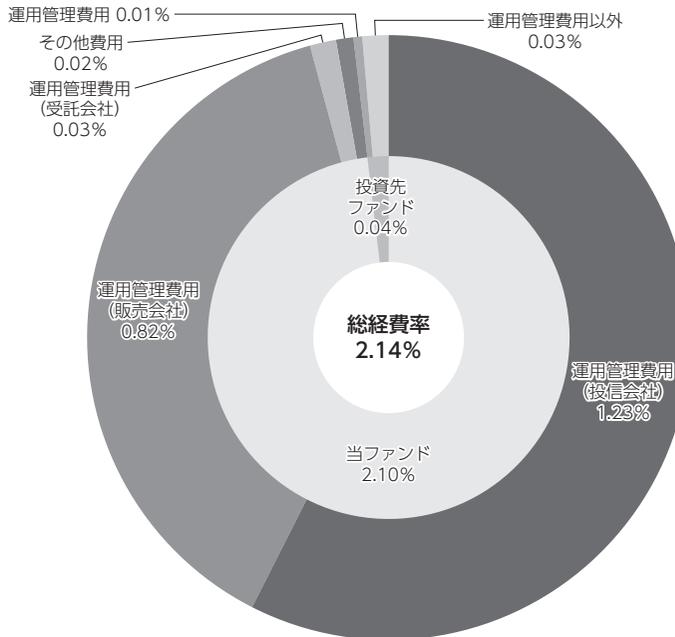
(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

Aコース (為替ヘッジあり)

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.14
①当ファンドの費用の比率	2.10
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.01
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月3日～2023年3月2日)

投資信託証券

銘	柄	第36期～第37期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	AB SICAV I Select US CL-S	2,582	159	2,914	177
	AB FCP I American Income Portfolio CL-S	6,726	135	14,023	278
	小 計	9,309	295	16,937	455

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月3日～2023年3月2日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年3月2日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘	柄	第18作成期末	第19作成期末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%
AB SICAV I Select US CL-S		13,127	12,795	772	105,185	43.2
AB FCP I American Income Portfolio CL-S		59,797	52,501	1,045	142,389	58.5
合 計		72,924	65,296	1,818	247,575	101.7

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2023年3月2日現在)

項 目	第19作成期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	142,389	54.5
投資証券	105,185	40.3
コール・ローン等、その他	13,663	5.2
投資信託財産総額	261,237	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建純資産(247,575千円)の投資信託財産総額(261,237千円)に対する比率は94.8%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=136.15円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第36期末	第37期末
	2022年12月2日現在	2023年3月2日現在
	円	円
(A) 資産	518,791,869	508,974,627
コール・ローン等	8,939,767	7,661,800
投資信託受益証券(評価額)	140,806,065	142,389,845
投資証券(評価額)	102,611,619	105,185,513
未収入金	266,434,418	253,737,469
(B) 負債	250,893,648	265,531,099
未払金	249,515,051	264,189,048
未払解約金	656	684
未払信託報酬	1,373,635	1,337,281
その他未払費用	4,306	4,086
(C) 純資産総額(A-B)	267,898,221	243,443,528
元本	288,123,240	272,164,000
次期繰越損益金	△ 20,225,019	△ 28,720,472
(D) 受益権総口数	288,123,240口	272,164,000口
1万円当たり基準価額(C/D)	9,298円	8,945円

(注1) 当ファンドの第36期首元本額は297,595,510円、第36～37期中追加設定元本額は3,469,324円、第36～37期中一部解約元本額は28,900,834円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第36期0.9298円、第37期0.8945円です。

(注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は第36期20,225,019円、第37期28,720,472円です。

○損益の状況

項 目	第36期	第37期
	2022年9月3日～ 2022年12月2日	2022年12月3日～ 2023年3月2日
(A) 有価証券売買損益	2,909,545 円	△ 8,263,832 円
売買益	34,975,219	25,283,027
売買損	△32,065,674	△33,546,859
(B) 信託報酬等	△ 1,386,604	△ 1,347,948
(C) 当期損益金(A+B)	1,522,941	△ 9,611,780
(D) 前期繰越損益金	△27,187,104	△24,202,136
(E) 追加信託差損益金	5,439,144	5,093,444
(配当等相当額)	(10,440,266)	(9,876,669)
(売買損益相当額)	(△ 5,001,122)	(△ 4,783,225)
(F) 計(C+D+E)	△20,225,019	△28,720,472
(G) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(F+G)	△20,225,019	△28,720,472
追加信託差損益金	5,439,144	5,093,444
(配当等相当額)	(10,440,266)	(9,876,669)
(売買損益相当額)	(△ 5,001,122)	(△ 4,783,225)
分配準備積立金	9,343,004	8,810,761
繰越損益金	△35,007,167	△42,624,677

- (注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 第36期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(10,440,266円)および分配準備積立金(9,343,004円)より分配対象収益は19,783,270円(10,000口当たり686円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。
- (注5) 第37期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(9,876,669円)および分配準備積立金(8,810,761円)より分配対象収益は18,687,430円(10,000口当たり686円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

Bコース（為替ヘッジなし）

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年9月3日～2023年3月2日）

項 目	第36期～第37期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 113	% 1.036	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 67 ）	（ 0.611 ）	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 45 ）	（ 0.409 ）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 2 ）	（ 0.016 ）	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.001 ）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.003 ）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.002 ）	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	114	1.041	
作成期間の平均基準価額は、10,903円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

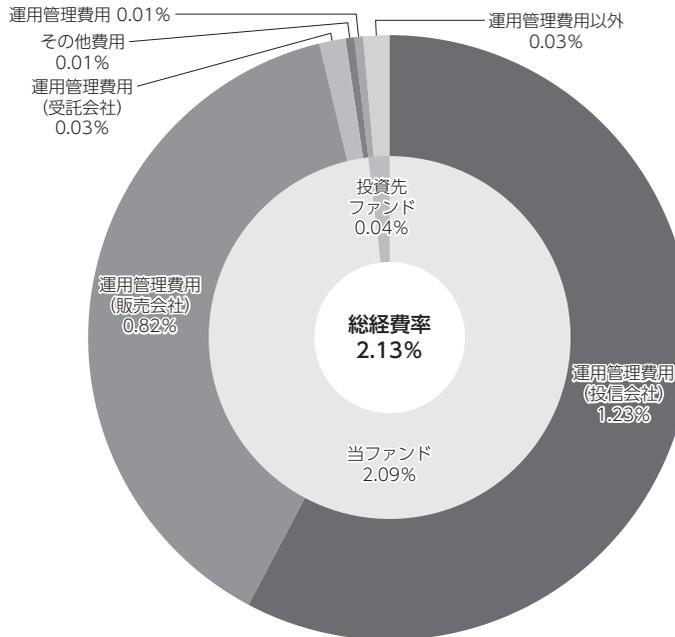
(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

Bコース (為替ヘッジなし)

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.13
①当ファンドの費用の比率	2.09
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.01
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月3日～2023年3月2日)

投資信託証券

銘	柄	第36期～第37期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	AB SICAV I Select US CL-S	25,628	1,574	23,222	1,419
	AB FCP I American Income Portfolio CL-S	77,242	1,520	110,521	2,214
	小 計	102,871	3,094	133,744	3,634

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月3日～2023年3月2日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年3月2日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘	柄	第18作成期末	第19作成期末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%
AB SICAV I Select US CL-S		94,260	96,666	5,836	794,668	41.2
AB FCP I American Income Portfolio CL-S		429,743	396,464	7,897	1,075,255	55.8
合 計		524,004	493,131	13,734	1,869,923	97.0

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2023年3月2日現在)

項 目	第19作成期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,075,255	52.9
投資証券	794,668	39.1
コール・ローン等、その他	161,952	8.0
投資信託財産総額	2,031,875	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建純資産(1,869,923千円)の投資信託財産総額(2,031,875千円)に対する比率は92.0%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=136.15円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第36期末	第37期末
	2022年12月2日現在	2023年3月2日現在
	円	円
(A) 資産	2,507,575,789	2,121,413,340
コール・ローン等	286,698,616	62,628,273
投資信託受益証券(評価額)	1,240,773,786	1,075,255,568
投資証券(評価額)	904,122,277	794,668,063
未収入金	75,981,110	188,861,436
(B) 負債	285,590,732	193,766,999
未払金	211,581,110	134,401,435
未払収益分配金	61,430,301	46,466,322
未払解約金	1,697,943	2,588,339
未払信託報酬	10,844,779	10,280,843
その他未払費用	36,599	30,060
(C) 純資産総額(A-B)	2,221,985,057	1,927,646,341
元本	2,047,676,718	1,858,652,885
次期繰越損益金	174,308,339	68,993,456
(D) 受益権総口数	2,047,676,718口	1,858,652,885口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,851円	10,371円

(注1) 当ファンドの第36期首元本額は1,850,996,753円、第36～37期中追加設定元本額は324,718,286円、第36～37期中一部解約元本額は317,062,154円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第36期1.0851円、第37期1.0371円です。

○損益の状況

項 目	第36期	第37期
	2022年9月3日～ 2022年12月2日	2022年12月3日～ 2023年3月2日
	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 23,239,806	△ 31,459,513
売買益	48,302,506	14,425,894
売買損	△ 71,542,312	△ 45,885,407
(B) 信託報酬等	△ 10,901,442	△ 10,324,041
(C) 当期損益金(A+B)	△ 34,141,248	△ 41,783,554
(D) 前期繰越損益金	160,163,917	56,940,434
(E) 追加信託差損益金	109,715,971	100,302,898
(配当等相当額)	(120,834,732)	(112,262,594)
(売買損益相当額)	(△ 11,118,761)	(△ 11,959,696)
(F) 計(C+D+E)	235,738,640	115,459,778
(G) 収益分配金	△ 61,430,301	△ 46,466,322
次期繰越損益金(F+G)	174,308,339	68,993,456
追加信託差損益金	109,715,971	100,302,898
(配当等相当額)	(120,834,732)	(112,262,594)
(売買損益相当額)	(△ 11,118,761)	(△ 11,959,696)
分配準備積立金	98,733,616	40,570,815
繰越損益金	△ 34,141,248	△ 71,880,257

- (注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 第36期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(120,834,732円)および分配準備積立金(160,163,917円)より分配対象収益は280,998,649円(10,000口当たり1,372円)であり、うち61,430,301円(10,000口当たり300円)を分配金額としております。
- (注5) 第37期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(112,262,594円)および分配準備積立金(87,037,137円)より分配対象収益は199,299,731円(10,000口当たり1,072円)であり、うち46,466,322円(10,000口当たり250円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

	第36期	第37期
1 万口当たり分配金 (税込み)	300円	250円

※分配金をお支払する場合

分配金は、各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

※分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいてみなさまの口座に繰入れて再投資いたしました。

課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。また、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務署等にお問い合わせください。

《組入投資信託証券の内容》

当ファンドの運用報告書作成時点において入手可能な直前計算期間の年次報告書（または半期報告書）をもとに作成しております。なお、当ファンドは「アライアンス・バーンスタイン SICAVー セレクトUSエクイティ・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ」および「アライアンス・バーンスタインー アメリカン・インカム・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ」に投資しておりますが、次頁の内容は各投資信託証券におけるすべてのクラスを合算しております。

アライアンス・バーンスタイン SICAVー セレクトUSエクイティ・ポートフォリオ

◎組入資産明細表

組入上位10銘柄

2022年5月31日現在

	銘柄名	業種	組入比率 (%)
1	アップル	情報技術	5.3
2	マイクロソフト	情報技術	5.1
3	パークシャー・ハサウェイ	金融	4.7
4	アルファベット	コミュニケーション・サービス	3.7
5	フィフス・サード・バンコープ	金融	3.6
6	ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	3.5
7	レイセオン・テクノロジーズ	資本財・サービス	3.1
8	ジョンソン・エンド・ジョンソン	ヘルスケア	3.1
9	ハネウェルインターナショナル	資本財・サービス	3.1
10	PNCファイナンシャル・サービスズ・グループ	金融	2.9

(注) 組入比率は組入有価証券に対する比率です。

運用および純資産変動計算書

2022年5月31日に終了した年度
(単位：米ドル)**投資収益**

配当金、純額	42,453,048
利息	25,151
スワップ収益	0
貸付証券収益、純額	7,842
	<hr/>
	42,486,041

費用

管理報酬	41,760,928
スワップに係る費用	0
管理会社報酬	1,039,676
税金	1,248,240
名義書換代行報酬	869,709
専門家報酬	310,662
保管報酬	177,725
販売報酬	0
会計および管理事務代行報酬	212,377
成功報酬	0
印刷費	20,312
創業費	0
その他	381,609
	<hr/>
	46,021,238
費用払戻または権利放棄	0
純費用	46,021,238
投資純（損）益	<hr/>
	(3,535,197)

実現（損）益

投資有価証券、先物為替予約、スワップ、金融先物契約、オプションおよび通貨	457,401,085
源泉税	0

未実現（損）益の変動

投資有価証券	(563,562,475)
金融先物契約	0
先物為替予約	94,739
スワップ	0
売建オプション	0
運用実績	<hr/>
	(109,601,848)

ファンド証券取引

増（減）額	699,376,890
分配金	(18,902)

純資産額

期首	3,573,124,877
為替換算調整	0
期末	<hr/>
	4,162,881,017

アライアンス・バーンスタイン - アメリカン・インカム・ポートフォリオ

◎組入資産明細表

組入上位10銘柄

2022年8月31日現在

	銘柄名	利率 (%)	償還日	組入比率 (%)
1	米国国債	3.125	2027年8月31日	7.5
2	米国国債	6.125	2027年11月15日	6.2
			2029年8月15日	
3	米国国債	6.250	2030年5月15日	5.4
4	ファニーメイ	6.625	2030年11月15日	2.6
5	米国国債	7.625	2025年2月15日	1.4
6	ジニーメイ	3.000	TBA	1.3
7	米国国債	3.375	2042年8月15日	1.2
8	ファニーメイ	7.125	2030年1月15日	1.1
9	フレディマック	6.250	2032年7月15日	0.9
10	フレディマック	6.250	2029年5月15日	0.8

(注) 組入比率は組入有価証券に対する比率です。

運用および純資産変動計算書

2022年8月31日に終了した年度
(単位：米ドル)

投資収益

利息	1,093,601,849
スワップ収益	129,203,251
配当金、純額	33,881,711
貸付証券収益、純額	0
	<hr/> 1,256,686,811

費用

管理報酬	194,482,224
スワップに係る費用	30,263,372
管理会社報酬	17,587,689
名義書換代行報酬	9,297,316
税金	8,341,684
販売報酬	6,531,694
専門家報酬	1,462,460
保管報酬	906,177
会計および管理事務代行報酬	212,377
印刷費	326,453
その他	1,207,757
	<hr/> 270,619,203
費用払戻または権利放棄	(159)
純費用	<hr/> 270,619,044
投資純(損)益	<hr/> 986,067,767

実現(損)益

投資有価証券、先物為替予約、スワップ、金融先物契約、オプションおよび通貨	(1,225,239,270)
源泉税	0

未実現(損)益の変動

投資有価証券	(2,873,187,184)
金融先物契約	(19,061,167)
先物為替予約	(14,957,715)
スワップ	196,738,540
売建オプション	2,347,748
運用実績	<hr/> (2,947,291,281)

ファンド証券取引

減額	(4,488,398,526)
分配金	(835,033,647)

純資産額

期首	24,837,439,539
為替換算調整	0
期末	<hr/> 16,566,716,085